

〔優秀賞〕

◇ 題名 CMで学んだこと ◇

吾妻小学校 5年 島田 舞花

「ジェンダーバイアス」という言葉を知っていますか。私は、そのことをとあるCMから知りました。

そのCMには、赤ちゃんの泣き声と家のベランダが描かれたまん画の一コマが出てきます。そして、

「はいはい。今行くね。よしよし。」
と吹き出しの中に文字が書かれています。また、べつの一コマでは、たなにたくさんのぬいぐるみが置かれている場面で、

「ピンクがいい。」
と吹き出しに書かれています。そして、その最後に「聞こえてきたのは、男性の声ですか女性の声ですか。」とそのCMは問いかけで終わります。私はこの二つの場面で、女性の声が聞こえてきました。

また、学校の場面では、しょう来の夢について発表している子どもが出てきます。「しょう来の夢は、パイロットです。」と書いてあります。また、サッカーボールが描かれている場面では「サッカーしようよ。」と書かれています。二つの場面で私は、男性の声が聞こえてきました。

私は、女性がやると思っているから女性の声が聞こえて、男性がやること、男性のしょく業だと思っているから男性の声が聞こえるのだと気づきました。このような無意識のうちに固定観念をもつことを「ジェンダーバイアス」と言うそうです。男女平等な生活をしていると思っていても、意外に気づかないうちに男女く別をしていたことにおどろきま

した。

ジェンダーバイアスにかかっている言葉には、女子アナ、美容男子、イクメンなどさまざまな言葉があります。他にも無意識のうちに使われている「男の子なら泣かないよね。」や「女の子は赤やピンクが好き。」などと言う思いこみもジェンダーバイアスにかかっているということを学びました。

さらに調べてみると、日本は、「ジェンダーギャップ指数」「男女の違いにより生じる格差」が、調査した146か国中、125位とかなり低い結果になっていることを知りました。このような状況の日本では、私のように知らず知らずのうちにジェンダーバイアスにかかった言葉を使っているかもしれないと思いました。

このCMを見るまでは、男女差はないと思っていました。しかし、無意識のうちに男性だ、女性だと決めつけていた自分に気づきました。これからは、言葉の意味を考えて使っていくことが重要だと感じました。また、友達や身の回りにいる人が、知らず知らずのうちに使っている場合などにも「ジェンダーバイアス」という言葉の意味を伝え、みんなと一緒に考えていくことが大切なのではないかと思いました。